

〈特別展〉 浮世絵猫百景 -国芳一門ネコづくし-

前期:2012年6月1日(金)~6月26日(火) 後期:6月30日(土)~7月26日(木)

(6月4、11、18、25、27~29日、7月2、9、17、23日は休館致します。)

※ リストの番号は展覧会図録の番号と一致しています。作品の展示順とは一致しません。予めご了承下さい。

※ 展示期間: 前期: 6/1~6/26 後期: 6/30~7/26 ※期間中、展示替えをおこないます。塗りつぶし部分が各作品の展示期間となります。

※ 所蔵先が空欄のものは、個人蔵の作品となります。

※ 展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

太田記念美術館

図録No.	作者	画題	判型	年代	所蔵先	前期	後期
第一景 猫百変化							
1	歌川国芳	猫の当字 かつを	大判錦絵	天保14年(1843)			
2	歌川国芳	猫の当字 たこ	大判錦絵	天保13年(1842)頃			
3	歌川国芳	絵鏡台合かゝ身 猫	团扇絵	天保13年(1842)頃			
4	歌川芳藤	小猫をあつめ大猫とする	大判錦絵	弘化4~嘉永元年(1847~48)頃			
5	歌川芳藤	五拾三次之内猫之怪	大判錦絵	弘化4年(1847)			
6	歌川国芳	猫身八毛意	团扇絵	天保13年(1842)頃			
7	歌川国芳	見立猫見八貝 画稿	紙本墨画一枚	天保13年(1842)頃			
8	歌川国芳	からず猫夜のあめ 白のぼせて	团扇絵	天保末期(1842~44)頃			
9	歌川国芳	流行猫じゃらし	袋	天保12年(1841)頃			
10	歌川国芳	流行猫の曲鞠	大判錦絵	天保12年(1841)			
11	歌川国芳	猫の曲鞠	团扇絵	天保12年(1841)			
12	錦江斎春舛	墨摺報条 風流曲手まり	墨摺一枚	天保12年(1841)			
13	歌川広重	猫の廻節渡り 釣り狐	中判錦絵二丁掛	天保13年(1842)頃			
14	歌川国芳	二代目市川九蔵のあわしま庄太夫	大判錦絵	天保12年(1841)			
15	歌川国芳	乱朝恋山崎 上の巻 初代坂東しうかのあづま 十二代目市村羽左衛門の与五郎 二代目市川九蔵のあわしま庄太夫	大判錦絵三枚続	天保12年(1841)			
16	歌川国芳	猫のおどり	团扇絵	天保12年(1841)			
17	歌川国芳	猫の百面相 忠臣蔵	团扇絵	天保12年(1841)頃			
18	歌川国芳	猫の百面相	团扇絵	天保12年(1841)頃			
19	歌川国芳	猫の百面相	团扇絵	天保12年(1841)頃			
20	歌川国芳	三段目	团扇絵	天保12~13年(1841~42)			
21	歌川国芳	たこさかな	团扇絵	天保12~13年(1841~42)			
22	歌川国芳	双蝶々曲輪日記 角力場	团扇絵	天保13年(1842)			
23	歌川国芳	鏡見山	团扇絵	天保13年(1842)			
24	歌川芳藤	猫三びきの唄	大判錦絵	嘉永2年(1849)			
25	歌川国峰	猫娘	紙本淡彩一幅	明治後半(1888~1912)頃			
26	歌川国芳	初雪の戯遊	大判錦絵三枚続	弘化4~嘉永3年(1847~50)			
27	歌川国芳	たとゑ尽の内	大判錦絵(三枚続のうち左)	嘉永5年(1852)			
28	歌川国芳	源氏雲浮世画合 夕霧 絹川谷蔵	大判錦絵	弘化2~3年(1845~46)頃			
29	歌川国貞 (三代歌川豊国)	時代模筆当白波 山猫三次	大判錦絵	安政6年(1859)6月			
30	歌川国芳	国芳もやう正札附現金男 野晒借助	大判錦絵	弘化2年(1845)頃			
31	溪斎英泉	吉原美人 扇屋内花窓	大判錦絵	文政後半(1825~30)頃			
32	月岡芳年	東京自慢十二月月 六月 入谷の朝顔 新ばし 福助	大判錦絵	明治13年(1880)3月23日御届			
33	月岡芳年	古今比売鑑 薄雲	大判錦絵	明治8~9年(1875~76)頃			
34	歌川国芳	浮世よじづ久志	大判錦絵二枚続	弘化4~嘉永元年(1844~45)			
35	歌川国芳	名誉右に無敵左り甚五郎	大判錦絵三枚続	弘化4~嘉永3年(1847~50)	太田記念美術館		
36	月岡芳年	歌川国芳肖像	紙本着色一幅	文久元年(1861)頃	太田記念美術館		
第二景 猫の一日~遊んで眠ってしかられて							
37	鈴木春信	猫に蝶	中判錦絵	明和2~7年(1765~70)頃	太田記念美術館		
38	磯田湖龍斎	竹林の猫に雀	細判錦絵	安永年間(1772~81)頃			
39	磯田湖龍斎	猫に金魚	中判錦絵	安永年間(1772~81)頃			
40	歌川広重	名所江戸百景 浅草田圃西の町詣	大判錦絵	安政4年(1857)11月	太田記念美術館		
41		縁先二美人	紙本着色一幅	18世紀前半	太田記念美術館		
42	菱川派	官女立姿	絹本着色一幅	17世紀末~18世紀前半	太田記念美術館		
43	月岡雪鼎	髪すき	絹本着色一幅	天明6年(1786)	太田記念美術館		
44	歌川豊国	美人戯猫	絹本着色一幅	寛政後期(1795~1801)	太田記念美術館		
45	勝川春章	子猫に美人	絹本着色一幅	安永末期~天明初期(1780~82)頃	太田記念美術館		
46	北尾重政	美人戯猫	絹本着色一幅	天明5年(1785)6月	太田記念美術館		
47	春川五七	化粧美人	絹本着色一幅	文化~天保二年(1804~31)頃	太田記念美術館		
48	歌川貞秀	猫を抱き上げる美人	絹本着色一幅	江戸時代末(1830~68)頃			
49	鈴木春信	水仙花	中判錦絵	明和5年(1768)頃	太田記念美術館		
50	鈴木春信	風流五色墨 素丸	中判錦絵	明和5年(1768)頃	太田記念美術館		
51	喜多川歌麿	青楼六家選 扇屋花扇	大判錦絵	享和元~2年(1801~2)			
52	鳥居清長	美人と猫	柱絵	天明前期(1781~84)頃			
53	歌川豊国	浮世舞台番 松助風	大判錦絵	文化中期(1809~14)頃			
54	歌川国芳	山海愛度図会 七 ラへいたい 越中滑川大蝸	大判錦絵	嘉永5年(1852)8月			
55	歌川国芳	山海めてたいづえゑ 十九 はやくめたい 播州高砂蝸	大判錦絵	嘉永5年(1852)8月			
56	歌川国芳	山海愛度図会 三十八 えりをぬきたい 遠江須之股川鱉	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	太田記念美術館		

57	歌川国芳	國中八せん花 菊	团扇絵	弘化2~3年(1845~46)頃		
58	月岡芳年	風俗三十二相 あつたかさう 寛政年間町家後家の風俗	大判錦絵	明治21年(1888)3月2日印刷 同7日出版	太田記念美術館	
59	月岡芳年	風俗三十二相 うるささう 寛政年間処女の風俗	大判錦絵	明治21年(1888)2月25日印刷 同3月1日出版	太田記念美術館	
60	歌川国貞(三代歌川豊国)	当世俳優眞風競 三代目市川門之助	大判錦絵	文政中期(1822~26)頃	太田記念美術館	
61	豊原国周	東けい三十六会席 柳ばしそめ	大判錦絵	明治3年(1870)閏10月		
62	歌川国芳	七小町 雨こい小町	大判錦絵	安政2年(1855)12月		
63	歌川国芳	戯見立鳥木合 六木に日鳥	大判錦絵	弘化3年(1846)頃		
64	歌川豊国	猫じゃらし	柱絵	文化前半(1804~10)頃		
65	喜多川歌麿	針仕事	大判錦絵(三枚続のうち右)	寛政6~7年(1794~95)頃	太田記念美術館	
66	歌川国貞(三代歌川豊国)	美人合 春曙	大判錦絵	文政後期(1824~30)頃		
67	歌川国貞(三代歌川豊国)	子宝遊	大判錦絵	天保(1830~44)頃		
68	歌川国芳	七婦久人 寿老人	大判錦絵	弘化4~嘉永元年(1847~48)		
69	歌川国芳	妙でんす十六利勘 降那損者	大判錦絵	弘化2~3年(1845~46)頃		
70	歌川国芳	婦女鏡 豊	大判錦絵	弘化元年(1844)		
71	歌川国芳	見立風流貝づくし	大判錦絵	天保5~6年(1834~35)頃		
72	歌川国芳	艶姿十六女仙 豊千禪師	大判錦絵	弘化4~嘉永元年(1847~48)頃		
73	歌川芳玉	見立松竹梅の内 たなばたの竹	大判錦絵	天保14~弘化4年(1843~47)		
74	月岡芳年	見立多以尽 とりけしたい	大判錦絵	明治11年(1878)1月御届		
75	豊原国周	見立屋夜廿四時之内 午後八時	大判錦絵	明治24年(1891)1月印刷出版	太田記念美術館	
76	歌川国貞(三代歌川豊国)	富ヶ岡八幡宮境内	大判錦絵三枚続	天保14~弘化3年(1843~46)		
77	歌川国安	通俗水滸伝豪傑百八人之巻人 扇屋内花ぞの	大判錦絵	天保初期(1830~32)頃		
78	歌川貞虎	白髭寿老神 東都七福詣の内	大判錦絵	文政~天保13年(1818~42)頃		
79	歌川国芳	絵兄弟やさすかた 鶴退治	大判錦絵	弘化2~3年(1845~46)		
80	歌川国貞(三代歌川豊国)	江戸名所百人美女 四ツ谷	大判錦絵	安政5年(1858)2月	太田記念美術館	
81	小林清親	猫と提灯	横大々判錦絵	明治10年(1877)	太田記念美術館	
82	小林清親	カンバスに猫	横大判錦絵	明治13年(1880)	太田記念美術館	
83	高橋弘明	猫	52.9 x 37.9cm	昭和6年(1931)8月		
84	高橋弘明	白猫	26.6 x 36.8cm	大正15年(1914)		

第三景 猫のお化け

85	歌川国芳	五拾三次之内 岡崎の場	大判錦絵三枚続	天保6年(1835)		
86	歌川国芳	日本駄右工門猫之古事	大判錦絵三枚続	弘化4年(1847)		
87	歌川貞秀	東海道五十三次之内 岡崎	大判錦絵	天保6年(1835)		
88	歌川国芳	東海道五十三対 岡部	大判錦絵	弘化2~3年(1845~46)頃		
89	歌川国貞(三代歌川豊国)	東海道五十三次之内 白須賀 猫塚	大判錦絵	嘉永5年(1852)3月	太田記念美術館	
90	歌川国貞(三代歌川豊国)	五十三次内岡部丸子ノ間宇津谷猫石	大判錦絵三枚続	安政元年(1854)閏7月		
91	歌川国貞(三代歌川豊国)	四代目中村芝翫の須波数右工門 十三代目市村羽左衛門の猫の中 のり 三代目沢村田之助のりやうしおなミ 中村雀之助の荒駒小太郎	大判錦絵三枚続	文久元年(1861)8月		
92	歌川国貞(三代歌川豊国)	中村雀之助の千寄弥五郎 十三代目市村羽左衛門の古猫の怪 四代 目中村芝翫の須波数右衛門	大判錦絵三枚続	文久元年(1867)10月		
93	歌川国貞(三代歌川豊国)	八代目市川團十郎の伊東社太 四代目市川小団次の後室さがの方 四代目尾上梅幸の愛妾胡蝶	大判錦絵三枚続	嘉永6年(1853)6月		
94	二代歌川国貞	二代目岩井紫若の三浦屋のけいせい薄雲 四代目市村家橋の新造 胡蝶実は猫の精 五代目坂東彦三郎の尺八指南草月実は旧鼠精	大判錦絵三枚続	慶応2年(1866)正月		
95	歌川芳瀧	けいせい花八英	中判三枚続	明治3年(1870)		
96	二代歌川国貞	金華七変化の内 山口の城主 大内権介義弘	大判錦絵	慶応2年(1866)7月		
97	二代歌川国貞	金華七変化の内 大内家の忠臣 小森半之丞晴光	大判錦絵	慶応2年(1866)7月		
98	二代歌川国貞	金華七変化の内 義弘の愛妾 実八於玉の方	大判錦絵	慶応2年(1866)7月		
99	歌川国芳	曲亭翁稿著 八犬士随一 犬村大角	大判錦絵	天保7~9年(1836~38)頃		
100	歌川芳虎	佐藤正清四国征討ノトキ小曾ヶ部元親ノ本城ヲ落ス折カラ不計深山 ニ立入怪物退治ノ図	大判錦絵三枚続	文久2年(1862)2月		
101	月岡芳年	美勇水滸伝 魔陀羅丸	中判錦絵	慶応3年(1867)4月		
102	楊洲周延	雪月花 肥前 佐賀花 奥庭怪猫	大判錦絵	明治17年(1884)8月2日御届		
103	楊洲周延	東錦屋夜競 佐賀の怪猫	大判錦絵	明治19年(1886)10月御届	太田記念美術館	
104	歌川芳員	百種怪談妖物双六	錦絵四枚継(絵双六)	安政5年(1858)9月	太田記念美術館	

第四景 猫は千両役者

105	歌川豊国	三代目坂東三津五郎の肴や喜三郎 五代目松本幸四郎の髪巾い ち三郎	大判錦絵二枚続	文化13年(1816)		
106	歌川国芳	荷宝蔵壁のむだ書(黄腰壁)	大判錦絵(三枚続のうち中央)	嘉永元年(1848)		
107	歌川国貞(三代歌川豊国)	三代目尾上新七の宵寝の仁三 初代坂東しうかのがくの <small>小</small> さん 八代 目市川團十郎のお祭金五郎 三代目嵐音八の家主つまおぶた 初代 中山市蔵の黒沢翠蔵	横大判錦絵	嘉永3年(1850)		
108	歌川国貞(三代歌川豊国)	四代目市川小団次の一心太助 市川米五郎の所化善龍	大判錦絵	安政2年(1855)7月		

109	歌川国芳	中村断太郎の信田政兵衛 市川米五郎の善龍 四代目市川小團次の一心太介 ほか	大判錦絵三枚続	安政2年(1855)7月		
110	歌川国貞(三代歌川豊国)	初代中村福助の武二郎の武松 八代目片岡仁左衛門の西門屋啓十郎 四代目尾上菊五郎の武太郎女房おれん	大判錦絵三枚続	安政6年(1859)12月		
111	歌川国貞(三代歌川豊国)	三代目沢村田之助の侍女琴柱 四代目尾上菊五郎の四方屋ノ内侍実ハおれん 八代目片岡仁左衛門の高穂泰経実ハ啓十郎 初代中村福助の奴武平実ハ武次郎武松	大判錦絵三枚続	安政6年(1859)12月		
112	歌川国芳	流行猫の戯 道行 猫柳婬月影	大判錦絵	弘化4年(1847)頃		
113	歌川国芳	流行猫の戯 梅が枝無間の真似	大判錦絵	弘化4年(1847)		
114	歌川国芳	流行猫の戯 袂糞氣罵責段	大判錦絵	弘化4年(1847)頃		
115	歌川国芳	流行猫の戯 おしゆん伝兵衛 身の臭煙色時	大判錦絵	弘化4年(1847)		
116	歌川国芳	流行猫の戯 かぐみやな 草履恥の段	大判錦絵	弘化4年(1847)頃		
117	落合芳幾	虎の豹蛮 戯遊鈴ヶ森	大判錦絵二枚続	万延元年(1860)8月		
118	豊原国周	珍猫見立善悪競	大判錦絵三枚続	明治17年(1884)		
119	落合芳幾	与ハなさけ浮名の横ぐし	大判錦絵	万延元年(1860)8月		
120	落合芳幾	当世見立忠臣蔵	大判錦絵	万延元年(1860)8月		
121	四代歌川国政	芸競猫の戯	大判錦絵三枚続	明治5年(1872)		
第五景 猫の仕事・猫の遊び						
122	月岡芳年	猫鼠合戦	中判錦絵二丁掛	安政6年(1859)9月		
123	月岡芳年	猫鼠合戦	中判錦絵二丁掛	安政6年(1859)9月		
124	月岡芳年	猫鼠合戦	中判錦絵二丁掛	安政6年(1859)9月		
125	歌川広重	鼠おとし ひやかし	中判錦絵二丁掛	天保後期(1837~44)頃	太田記念美術館	
126	歌川芳艶	猫子つみどうけかつせん	大判錦絵三枚続	天保14年~弘化3年(1843~46)		
127	歌川芳艶	猫子つみどうけかつせん	大判錦絵三枚続	天保14年~弘化3年(1843~46)		
128	歌川国芳	心学雅絵得 猫と鼠	中判短冊	天保13年(1842)頃		
129		大黒天の夢 猫を追う白鼠	柱絵	安永(1772~80)頃		
130	歌川国芳	程芳流行大津絵 於弓 娘おつる	大判錦絵	弘化2~3年(1845~46)頃		
131	新田道純	新田猫	紙本墨画淡彩一幅	19世紀前半(1818~1854)頃		
132	二代歌川国貞	花盛土農工商	大判錦絵三枚続	嘉永2~5年(1849~52)		
133	渡辺周溪・貞斎泉晁	たけの休	大判錦絵	天保(1830~44)頃		
134	英斎	繭やしない草	大判錦絵三枚続	明治2年(1869)9月		
135	歌川芳員	かひこ心得草	大判錦絵	安政6年(1859)3月		
136	歌川芳藤	蚕やしない草	大判錦絵	明治9年(1876)		
137	楊洲周延	衣襲明神の像 鼠よけ猫	22.3 × 10.5cm	明治20~30年(1887~97)頃		
138		猫尻寝鼠図	22.4 × 10.7cm	明治20~30年(1887~97)頃		
139		鼠除猫	33.0 × 15.1cm	明治20~30年(1887~97)頃		
140	歌川広重	浄るり町繁花の図	大判錦絵	嘉永5年(1852)	太田記念美術館	
141	二代長谷川貞信	俳優楽屋影評判 坂東寿三郎	大判錦絵	明治17年(1884)		
142	牧金之助	佐賀夜桜猫退治	大判錦絵三枚続			
143		猫鼠十六むさし	駒の猫/木彫/高さ1.5cm、子駒の鼠/木彫/高さ0.9cm、宝尽くし沈金蒔絵箱高さ/6.6cm	明治時代(1868~1912)		
144		花巻人形 鯛猫	産地:岩手県	江戸時代末期		
145		花巻人形 座り猫	産地:岩手県	江戸時代末期~明治時代初期		
146		花巻人形 猫抱き立ち娘	産地:岩手県	江戸時代末期~明治時代初期		
147		花巻人形 猫抱き座り娘	産地:岩手県	江戸時代末期~明治時代初期		
148		堤人形 猫抱き花魁	産地:宮城県	江戸時代末期~明治時代初期		
149		伝今土人形 座り猫	産地:東京都	江戸時代末期		
150		伏見人形 座り猫	産地:京都府	江戸時代末期~明治時代初期		
151		伏見人形 猫抱き座り童子	産地:京都府	江戸時代末期~明治時代初期		
152		伏見人形 猫抱き立ち童子	産地:京都府	明治時代(1868~1912)		
153		大阪練り物 小判くわえ猫	産地:大阪府	明治時代(1868~1912)		
154		大阪練り物 招き猫	産地:大阪府	明治時代(1868~1912)		
155		大阪練り物 猫に小判	産地:大阪府	明治時代(1868~1912)		
第六景 猫の事件簿						
156	勝川春章	三代目瀬川菊之丞	細判錦絵	安永後期(1777~81)頃		
157	二代喜多川歌麿	見立女三宮	大判錦絵二枚続	文化4年~文政初期(1807~22)		
158	歌川国貞(三代歌川豊国)	女三宮	大判錦絵二枚続	天保(1830~44)頃		
159	歌川国安	青楼若三人 女三の宮	大判錦絵	文化12~天保3年(1815~32)		
160	歌川国貞	源氏後集余情 五十のまき あつまや	大判錦絵二枚続	安政5年(1858)12月		
161	歌川国芳	源氏雲浮世画合 柏木 三かつ 娘おつう	大判錦絵	弘化2~3年(1845~1846)		
162	歌川国芳	源氏雲浮世画合 若菜下 桜丸女房八重	大判錦絵	弘化2~3年(1845~1846)		
163	田中益信	見立忠臣蔵 七段目	柱絵	明和後半(1768~72)頃		
164	歌川国芳	見立挑灯蔵 三段目	大判錦絵	弘化3~嘉永2年(1846~49)		
165	落合芳幾	東京日々新聞 八百五十六号	大判錦絵	明治7年(1874)1月19日		
166		八代目市川團十郎 死絵	大判錦絵二枚続	嘉永7年(1854)8月頃		
167		釈尊御寝はん	大判錦絵二枚続	明治16年(1883)7月御届		
168		道化肴市場	大判錦絵二枚続	慶応4年(1868)5月頃		
169	歌川国芳	はんじもの	大判錦絵	嘉永2~5年(1849~52)		

170	柴田是真・三代歌川 広重・松川半山	張交絵 南泉新猫ほか	大判錦絵	明治11年(1878)6月7日御届		
171	月岡芳年	神功后皇釣猫 本田善光難波池二如来ヲ感得ス	大判錦絵	明治15年(1882)		
172	落合芳幾	園位講武図	大判三枚続	文久2年(1862)9月		
173	落合芳幾	甲子の大黒天	大判錦絵	文久元年(1861)8月		
174	二代歌川広重	いさましき虎の世渡り	大判錦絵	万延元年(1860)9月		
175	歌川芳盛	中天竺下り大象之図	大判錦絵	文久3年(1863)4月		
176	歌川小芳盛	けだものしよ職尽し	大判錦絵	慶応3年(1867)3月		
第七景 猫のまち						
177	歌川芳員	猫の狂言尽くし	大判錦絵	安政2年(1855)9月		
178	歌川芳藤	見立猫づくし	大判錦絵	慶応3年(1867)		
179	歌川芳藤	新板猫の明がらす	大判錦絵	明治時代前期(1868~87)		
180		新板猫の狂言つくし	大判錦絵	明治時代前期(1868~87)		
181	歌川国利	新板浄瑠璃合	大判錦絵	明治17年(1885)2月御届		
182	歌川国利	東海道滑稽五十三次の内 第二	大判錦絵	明治16年(1883)12月御届		
183		新板猫鼠夜討の図	大判錦絵	明治時代前期(1868~87)		
184	歌川芳藤	新板戯猫の忠臣蔵	大判錦絵	明治15年(1882)12月御届		
185	歌川政信	新版敵同士猫鼠	大判錦絵	明治時代前期(1868~87)頃		
186	歌川国利	志ん板ねこ大夫	大判錦絵	明治19年(1886)2月23日御届		
187	四代歌川国政	新板ねずみのたわむれ	大判錦絵	明治15年(1882)3月27日御届		
188	歌川芳藤	新板猫の戯画	大判錦絵	明治16年(1883)7月5日御届		
189	歌川国利	志んばんねこ尽	大判錦絵	明治23年(1890)御届		
190	歌川国利	新板猫の戯	大判錦絵	明治17年(1884)7月4日御届		
191	歌川国利	新版ねこ尽シ	大判錦絵	明治時代前期(1868~99)		
192	歌川国利	流行ねこの温泉	大判錦絵	明治14年(1881)御届		
193	小林幾英	志ん板猫のおんせん	大判錦絵	明治16年(1883)御届		
194	望斎秀月	新版ねこの温泉	大判錦絵	明治18年(1885)5月御届		
195		新版猫乃湯	大判錦絵	明治19年(1886)12月御届		
196	四代歌川国政	志ん板猫のそばや	大判錦絵	明治6年(1873)10月	太田記念美術館	
197	歌川国梅	新はん猫世帯まこしらへ	大判錦絵	明治18年(1885)御届		
198	歌川国利	志ん板猫のままこと	大判錦絵	明治18年(1885)1月御届		
199		志ん板大長屋猫のぬけうら	大判錦絵	明治29年(1896)12月25日御届		
200	小林幾英	志ん板ねこのたはむれ	大判錦絵	明治14年(1881)2月御届		
201	二代歌川国明	志んはん猫づくし	大判錦絵	明治時代前期(1868~88)頃	太田記念美術館	
202		猫づくし	大判錦絵	明治時代前期(1868~88)頃		
203	歌川芳藤	志ん板猫のかるわざ	大判錦絵	明治時代前期(1868~87)頃		
204	歌川芳藤	志ん板猫のたわむれ踊のをさらい	大判錦絵	明治時代前期(1868~87)頃		
205	小林幾英	新版階のりのつ	大判錦絵	明治17年(1884)10月御届		
206	歌川国利	志ん板子猫のたわむれ	大判錦絵	明治14年(1881)御届		
207	歌川芳藤	志ん板猫の恋じ	大判錦絵	明治14年(1881)4月4日印刷		
208	歌川芳藤	志ん板ねこのよめ入	大判錦絵	明治16年(1883)7月12日御届		
209		志ん板ねこのよめいり	大判錦絵	明治21年(1888)7月御届 同8月出版		
210		新版猫遊十二ヶ月	大判錦絵	明治時代前期(1868~98)頃		
211	四代歌川国政	新版猫乃花見	大判錦絵	明治11年(1878)		
212	小林幾英	猫の運動尽	大判錦絵	明治10年(1877)御届		
213	歌川芳藤	志ん板猫のたわむれ 西洋床	大判錦絵	明治時代前期(1868~87)頃		
214	梅窓	新版猫の勉強学校	大判錦絵	明治20~30年(1887~97)頃		
215		大新版猫のいしょう付	16.2×36.1cm	明治時代前半(1868~88)頃		
第八景 猫の絵本						
216	佚斎樽山	田舎莊子 猫之妙術	半紙本 一冊	享保12年(1727)刊		
217	南仙笑楚満人作・鳥 居清峰画	猫のよめ入	中本 一冊	文化3年(1806)		
218~ 230	山東京山作・歌川国 芳画	朧月猫の草紙 初編~七編 / 二編~七編(袋)	中本 七編十四冊/袋 六枚	天保12年(1841)		
231	楽亭西馬作・歌川国 芳画	稲妻形怪鼠標子 初編・三編 袋	各一枚	初編 嘉永5年(1852)刊 三編 嘉永6年(1853)刊		
232	歌川国芳	枕辺深闇梅 口絵	一枚	天保9年(1838)		
233~ 235	仮名垣魯文作・ 歌川芳虎画	金鈴善悪譚 初編・三編・四篇	中本 六冊	慶応2年(1866)		
236	仮名垣魯文作・ 歌川芳虎画	鏡花猫目鬘 初編	中本 二冊	文久3年(1863)		
237	竹柴金作作・ 四代歌川国政画	蟻蟻奥妖猫奇談	中本 一冊	明治13年(1880)		
238	重政	ひとつぶえり どいつ	中本 一冊	明治時代(1868~1912)		
239	長谷川小信	猫そうし	一冊	明治6年(1873)		
240	豊原国周	花競評判橋 新造胡蝶 わしの長吉 市村家橋	大判錦絵	慶応2年(1866)3月		
241	ジェームズ夫人訳・ 鈴木宗三郎画	しっぺい太郎	チリメン本 一冊	明治21年(1888)		
242	リットル訳	老鼠告状	チリメン本 一冊	明治24年(1891)		
243	仮名垣魯文作・ 三代歌川広重画	百猫画譜	二冊	明治11年(1878)		